

オプトアウトにより同意を取得する臨床研究一覧  
 直接に同意を取得しない臨床研究一覧（2019年度）

承認番号	診療科・研究責任者	研究課題名	研究内容	研究期間	備考
191001	医療情報センター 北村 和之	電子カルテ(SS-MIX)の秘密分散 バックアップ技術に関する研究開発	本研究開発では、Society5.0を支えるサイバー空間の超長期セキュリティを確保し、将来にわたりサイバーセキュリティ脅威に晒されることのない医療情報の安心・安全なデータ伝送・保管・外部バックアップ技術を開発し、社会実装することを目標とする。	2018/4/16 ~ 2021/3/31	
191002	血液内科 藤下 恵悟	当院における多発性骨髄腫と先行する血液疾患との関連性の評価	当院にて診療された多発性骨髄腫患者において先行する血液疾患の存在が予後に影響を与えるか否かを後方視的に検証する。	2018/4/16 ~ 2019/3/31	
191004	小児科 西内 律雄	急性リンパ性白血病における分子遺伝学的検査の意義と実行可能性を検証するための多施設共同前向き観察研究 ALL-18	今後の多施設共同試験を想定し、小児急性リンパ性白血病を対象として、パネル検査やFISH/PCRなどを含んだ中央検査を行い、その実現性を検証するとともに、中央検査の意義を確認する。	2018/4/16 ~ 2024/1/31	
191005	循環器内科 宮地 剛	左右両用ガイディングカテーテルによる急性心筋梗塞に対する冠動脈インターベンションの時間短縮の検討	ST上昇型急性心筋梗塞は急性期死亡率が高い疾患であり、一刻も早く閉塞した冠動脈を再開通させることで死亡率を低下させることができる。再開通の方法は冠動脈インターベンション(PCI)の効率が良く、いかに短時間にPCIを成功させるか、さらなる改善が必要とされている領域である。左右両用カテーテルは、左冠動脈にも右冠動脈にも挿入が可能のため、カテーテル交換の時間を短縮することが可能なはずである。IKARIカーブカテーテルは左右両用カテーテルとして現在最も優れたカテーテルと考えられ、心筋梗塞の再灌流時間の短縮に有用であると考えられる。左右両用カテーテルを用いたPCIと従来のPCIのデータを後ろ向きに回収する。	2018/4/16 ~ 2019/12/31	
191007	医療技術局 所谷 亮太郎	核医学におけるニューラルネットワークを利用した骨転移巣の特徴量抽出評価	当研究の目的は、畳み込み型ニューラルネットワークを利用して骨シンチグラフィより骨転移巣の特徴量を抽出し、AIによって骨転移を評価可能か検証することにある。	2018/4/16 ~ 2020/4/1	
191010	看護局(救急外来) 西浦 明菜	熱性けいれんのパンフレットを活用した帰宅指導の効果	初発の熱性けいれんで救急搬送される患児の保護者に対してパンフレットを活用した帰宅指導を行うことで、再受診率・電話相談件数への効果を検討した。再受診については個人情報を確認せず、調査期間中に熱性けいれんの病名で受診した患者を医事データから抽出した。電話相談については件数を別紙に記載し、相談件数を抽出した。結果、再受診率・電話相談件数は低下し、パンフレットを活用した帰宅指導は効果があったことを報告する。	2018/5/21 ~ 2019/10/31	
191011	看護局(中央手術) 安岡 由美	周術期体温管理ケアの標準化～効果的な体温管理ケアフローの検討～	見直しを行った「体温管理ケアフロー」の効果を検証するために、全身麻酔症例58例に対しケアフローを用いて選択したブランケットを使用。麻酔直後の体温と手術終了時の体温を測定し、麻酔直後の体温が手術終了時に1℃以上低下していないかを検証する。	2018/5/21 ~ 2019/7/20	
191012	脳神経外科 太田 剛史	高知県脳卒中悉皆調査における脳卒中発症様式の追加登録研究(KATSUO-A repository)	2012年から2017年にかけて高知県脳卒中悉皆調査(KATSUO registry)に登録された患者のうち、出血性脳卒中(脳出血、くも膜下出血)患者についてその詳細を追加登録しデータベース化すること。この保管されたKATSUO registryを用いて、脳卒中の発症はどのような環境要因に左右されるのか、またその環境要因に影響を受けるのはどのような脳卒中のサブタイプなのかを研究する。	2018/5/21 ~ 2021/3/30	
191013	脳神経外科 政平 訓貴	硬膜動静脈瘻に対するOnyx液体塞栓システムを用いた経動脈塞栓術に関する多施設共同登録研究(Onyx dAVF TAE Registry)	硬膜動静脈瘻に対するOnyx液体塞栓システムを用いた経動脈塞栓術に関する多施設共同登録研究	2018/5/21 ~ 2021/9/30	
191014	循環器内科 尾原 義和	経皮的僧帽弁接合不全修復システムを用いた僧帽弁閉鎖不全に対する治療介入の有効性と安全性に関する多施設レジストリー研究	経皮的僧帽弁接合不全修復システムを用いた僧帽弁閉鎖不全に対する治療の情報を蓄積し、本治療法の位置づけを確立する。	2019/5/21 ~ 2024/5/1	

承認番号	診療科・研究責任者	研究課題名	研究内容	研究期間	備考
191015	消化器外科・一般外科 稲田 涼	腹腔鏡下大腸がん切除術における癒着防止材の有益性に関する多施設観察研究	定型的に開腹手術や腹腔鏡手術において、日常的に使用されている癒着防止剤の有効性を改めて検証することを目的とする。各参加施設で腹腔鏡下大腸癌切除術を施行予定の患者を対象に、癒着防止剤(セブラフィルム、インターシード、アドスプレー)の使用の有無、癒着防止剤の種類により、術後に癒着が原因と考えられる症状の発現率に差を認めるかどうかを、StageⅡ/Ⅲといった将来の予後予測因子だけでなく、探索適応内において測定可能な癌体細胞変異情報も加味し検討する。	2019/5/21 ~ 2025/3/31	
191017	高知学園短期大学 三木 友香理	悪性腫瘍をとりまく微小環境の分子細胞レベルでの解明	悪性腫瘍において腫瘍間質が作り出す微小環境が腫瘍の増殖や浸潤、さらには予後とどのように関わっているのかを解析することを目的として、腫瘍間質における樹状細胞の分布と免疫チェックポイント関連分子PD-1/PD-L1の発現を免疫組織化学染色により明らかにし、マクロファージやリンパ球の分布や臨床病理学的因子との関連について検討する。	2019/6/5 ~ 2020/3/31	
191019	救命救急センター 中田 有香	STEMI患者のドクターヘリ搬送－看護師の役割と今後の展望－	当院では、現場及び転院搬送であっても、STEMIと分かれば、直接カテ室に入室する事がある。しかし、院内で統一されたプロトコルはなく、状況に応じて対応している現状がある。そこで、症例を振り返り、早期治療に向け、直接カテ室入室が、可能になる様な取り組みが必要であると考えた。	2019/7/17 ~ 2019/11/30	
191020	救急外来 塚地 草平	急性期脳卒中症例における現場採血の有用性の検討	ドクターヘリでは2016年より脳卒中の治療開始時間短縮にむけ現場での採血処置が開始されたが有用性の検討がされていなかった。したがって、現場採血処置の現場滞在時間への影響や実際の短縮時間を過去の脳卒中症例の現場滞在時間と病院到着後の画像検査移動時間を調査・集計し有用性の検討をおこなった。	2019/7/17 ~ 2019/11/30	
191023	泌尿器科 坪井 一朗	腎移植レシピエントドナーの術後生活の質に関する調査	腎移植ドナー レシピエントの術前術後の生活の質の変化に関して術前術後にSF36を用いて調査する	2019/7/4 ~ 2021/12/31	
191024	医療技術局 今城 健吾	外傷全身CTにおけるCT室滞在時間の試み	救急患者の画像診断にはCT検査が頻用されるが、静脈路やモニターのトラブルなどからCT室滞在時間が長くなる傾向にある。CT台移動に関する手順を統一化し、CT室滞在時間の短縮を図る	2019/7/4 ~ 2019/9/20	
191025	整形外科 小田 孔明	側方進入椎体間固定術の合併症のデータベース構築に関する研究	2017年1月～12月末までに本手術の合併症の情報を学会が作成したサイトにアクセスし入力する。	2019/7/16 ~ 2022/12/31	
191026	高知学園短期大学 三木 友香理	腫瘍微小環境に着目した新規予後予測因子の解明と分子標的治療への応用	悪性腫瘍の発生から増殖、浸潤や転移を起こす過程において、腫瘍間質に存在する免疫担当細胞が作り出す微小環境の形成がとても重要な役割を担っていることが知られている。本研究では、腫瘍間質に出現する腫瘍随伴マクロファージやリンパ球などの免疫担当細胞の分布が腫瘍にどのような影響を与えるのか、また、それら細胞から分泌されるサイトカインがどのように作用するのかを網羅的に解析し、腫瘍の増殖や転移との関連を解明することを目的とする。	2019/7/8 ~ 2023/3/31	
191031	精神科 大原 伸騎	致命的な自殺行為を行い、当科に入院することとなった未成年患者の特徴について	2017年4月1日から2018年11月31日までの間に、致命的な手段で自殺行動を行い、当院救急搬送された後、当科に入院した未成年患者を対象に、入院後の精神状態、診断、治療経過などを後方視的にカルテ調査し、評価・考察した。	2019/7/24 ~ 2019/11/22	
191032	医療情報センター 長田 由美子	院内がん登録とDPCを使ったQI研究(2017年症例)	院内がん登録とDPCの一元管理を試み、がん医療の実態を把握するデータベースを構築するとともに、その活用法を検討することを目的とする。	2019/7/24 ~ 2022/3/31	
191033	看護局 北添 可奈子	がん患者の苦痛スクリーニングの現状評価～トリアージ内容に焦点をあてて～	がん患者の苦痛の把握、苦痛スクリーニング体制の評価検討を目的に、2018年度のがん患者苦痛スクリーニングで得られたデータを用いて、陽性となった苦痛に対するトリアージ内容を分析した。	2019/8/1 ~ 2020/2/29	

承認番号	診療科・研究責任者	研究課題名	研究内容	研究期間	備考
191034	看護局 北添 可奈子	がん患者の苦痛スクリーニングの現状評価～全人的苦痛に焦点をあてて～	がん患者の苦痛の把握、苦痛スクリーニング体制の評価検討を目的に、2018年度のがん患者苦痛スクリーニングで得られたデータを用いて、陽性率や全人的苦痛の内容を分析した。	2019/8/1 ~ 2020/2/29	
191036	脳神経外科 上羽 佑亮	脳梗塞急性期画像による認知機能の予後予測に関する後ろ向き観察研究	急性期脳梗塞画像と発症3ヶ月後のFunctional Independence Measure (FIM)との関連を明らかにし、予後予測モデルおよび急性期治療における治療方針の新規モデルの構築を目指す。	2019/8/16 ~ 2020/3/31	
191037	乳腺甲状腺外科 高島 大典	閉経後ホルモン受容体陽性切除不能および転移・再発乳がんに対するパルボシクリブ療法の観察研究	閉経後ホルモン受容体陽性切除不能及び転移・再発乳がんに対し、日常臨床として実施するパルボシクリブ療法の有効性及び安全性を明らかにする。またパルボシクリブ療法が次治療に及ぼす影響を検証する。	2019/8/16 ~ 2024/1/31	
191038	消化器外科 岡林 雄大	癌特異的発現膜タンパク質であるLSR、GPC1の機能解析	膵癌に特異的に発現するタンパク質であるLSRとGPC1の機能の解析とそれら標的分子に対する新規治療法の開発です。	2019/8/16 ~ 2027/3/31	
191039	消化器外科 岡林 雄大	大腸癌肝転移に対する術前化学療法の効果についての多施設共同研究	大腸癌肝転移切除症例における周術期化学療法介入の効果と意義を検証すること	2019/8/16 ~ 2020/3/31	
191041	医療技術局 岡林 宏	我が国の小児CT検査で患児が受ける線量の実態調査(2018)	2015年に国内初の医療被ばく診断参考レベル(DRL2015)が設定された。2020年を目標に新たな診断参考レベル(DRL2020)に改定にむけて現在の小児CTにおける被ばく線量データの収集を目的とする	2019/8/16 ~ 2021/3/31	
191042	脳神経外科 太田 剛史	Tron FX血栓除去デバイス市販後登録研究	Tron FXを使って血栓回収療法を行った症例の安全性と有効性を確認する	2019/8/16 ~ 2020/12/31	
191044	集中治療 大谷 里沙	ICU患者の口渇を緩和するためのケアに関する現状 —心臓手術患者に焦点をあてて—	ICUにおける患者の口渇を緩和するためのケアの現状を明らかにし、今後のケアの質向上につなげることを目的に、以下の方法で現状調査を実施。2019年6月～7月に入室した心臓手術患者のカルテ記録から口渇を緩和するためのケアの現状を抽出。項目は①基本情報(術後日数、挿管・酸素投与期間、飲水開始時期)、②口渇の訴えの有無、③口渇の評価回数、④ケア内容と回数、⑤ケア前後の患者の反応とした。	2019/8/20 ~ 2020/3/8	
191045	小児科 西内 律雄	先天性血小板減少症の遺伝子解析およびレジストリ構築	日本における先天性血小板減少・異常症の頻度 臨床的特徴 診療実態 を記述し疾患の自然歴を明らかにすること。既知遺伝子解析を行うことにより先天性血小板減少・異常症の鑑別診断を行って結果を臨床に還元すること。既知遺伝子解析において確定診断が不可能であった症例を対象に、CGHアレイ法と全エクソーム解析または全ゲノム解析により新規責任遺伝子候補遺伝子を同定して結果を臨床に還元し、さらに新規疾患概念の提唱を目指すこと。また その系統のおよび継続的な 研究調査 体制を保持するためにレジストリ体制を構築すること。以上を目的に多施設共同前方向視的コホート研究を行う。	2019/8/20 ~ 2023/3/31	
191046	糖尿病・内分泌内科 菱田 藍	妊娠糖尿病におけるインスリン治療とその影響についての後ろ向き研究	妊娠糖尿病については血糖コントロール目標が厳格に定められており、積極的な治療介入が推奨されている。今後のより効果的な治療に役立てるため、インスリン治療を必要とした症例について、インスリン治療の内容と周産期の経過について後ろ向きに解析した。	2019/9/17 ~ 2020/11/30	
191047	脳神経外科 太田 剛史	脳卒中急性期脳主幹動脈閉塞の病院前評価指標標準化に関する研究	病院前の段階で、救急隊員が脳主幹動脈閉塞を有する急性期脳卒中を見分ける指標を確立することを目的とし、脳卒中を疑われて搬送された患者の医療機関受診時の状態を後ろ向きに検討すること。	2019/9/17 ~ 2020/6/30	
191050	脳神経外科 太田 剛史	脳卒中を含む循環器病対策の評価指標に基づく急性期医療体制の構築に関する研究	本邦の脳卒中の救急搬送の実態を検証し、予後改善に向けたボトルネックがどこに存在するかを評価するため、脳卒中を含む循環器病の医療の質を包括的に評価するQIを策定し、ベンチマーキングを行うことで、脳卒中対策の進捗状況を効率的にモニターできるかを検討すること。	2019/9/17 ~ 2021/3/31	

承認番号	診療科・研究責任者	研究課題名	研究内容	研究期間	備考
191051	乳腺甲状腺外科 高島 大典	転移乳がんに対する化学療法施行中の患者におけるelectronic patient-reported outcome (ePRO)を用いた症状・Quality of Lifeのモニタリング調査研究	転移性乳癌患者の多くが転移巣に関連した身体症状や治療に伴う様々な副作用、心理的な不安、抑うつといった症状を抱えており、これらは診察の度に医療者より評価され、適切な対応を行う必要がある。しかしながら医療者が短時間の診療時間でこれらを十分に把握することは困難である。近年IoT技術を応用した様々な電子デバイスが登場し、このうち医療者、患者間の新しいコミュニケーションツールとしてePROの有用性が注目されている。ePROを利用した症状やQOLをモニタリング調査し、その妥当性や信頼性を評価し、将来の臨床応用のための基盤情報を得ることを目的とする	2019/9/17 ~ 2020/8/31	
191052	消化器外科 木村 次郎	幽門側胃切除後の膵体尾部切除術の安全性に関する検討	過去の当院での膵体尾部切除術を受けた患者の合併症等を検討する。第120回日本外科学会で発表	2019/9/17 ~ 2019/9/30	
191053	消化器外科 戸嶋 俊明	閉塞性大腸癌に対するBridging to surgeryとしての大腸ステントの短期・中期成績と術後再発リスクの検討ー経肛門イレウス管との比較ー	閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置後の手術成績を検討した。	2019/9/20 ~ 2020/4/30	
191054	形成外科 原田 浩史	脊髄髄膜瘤手術における再建術式選択	脊髄髄膜瘤の皮膚欠損手術において、縫合できない場合は皮弁による閉鎖が必要となる。皮弁は正常な組織を犠牲とするため、その適応は慎重に選択する必要がある。当院で手術をおこなった症例について欠損の大きさ、位置、脊椎後湾の有無と再建方法を後ろ向きに調査し、皮弁の適応基準について論文として発表する。	2019/9/27 ~ 2020/8/31	
191055	乳腺甲状腺外科 高島 大典	マンモグラフィー読影におけるディープラーニングを用いたコンピューター自動診断システム(DLADS)の性能評価試験	マンモグラフィーの所見データを、ディープラーニングの技法の一つであるたみ込みニューラルネットワークに入力し、乳癌の画像の特徴を学習させることにより人工知能の画像学習を行う。人工知能による自動読影判定がヒトと同等もしくはそれ以上の性能を示すかどうか評価を行う。	2019/10/10 ~ 2021/10/31	
191056	医療技術局 横島 和宏	動脈瘤性くも膜下出血患者における早期リハビリテーションの安全性と有効性	急性期くも膜下出血患者は症候性スパズムや水頭症などの二次的合併症を起こすことが特徴的で、リハビリテーション介入や離床開始基準は不明確であり、長期の臥床による廃用症候群の進行、肺炎や不動関連合併症などが危惧されている。2017年4月より、くも膜下出血の根治治療がなされた症例に対して、離床プログラムを導入し安静度に準じて早期離床、歩行トレーニングを行なっている。下記の期間で離床プログラム導入による安全性と合併症の有無、在院日数、身体機能をカルテより後方視的に調査した。	2019/10/25 ~ 2020/3/31	
191057	整形外科 小田 孔明	外傷初療時に撮影する骨盤レントゲンの人工知能による画像診断に関する研究	画像認識技術(人工知能)を利用して骨盤レントゲンの自動診断ソフトの作成を試みる。過去に当院救急外来に搬送され撮影された骨盤レントゲン画像データと骨盤損傷の有無のデータを使用し深層学習にかけ自動診断ソフトを作成する。	2019/10/27 ~ 2021/3/31	
191059	救命救急科 竹内 慎哉	救急ICUに入室した挿管患者における気管切開のリスク因子の検討	我が国の高齢者は年々増加しており、高齢者の変化として認知機能や喀痰排出能の低下がある。こういった変化は抜管には不利であり気管切開のリスクが高くなりうる。しかし、救急患者において気管切開に対するリスク因子の検討は行われていない。そのため、集中治療室に入室および気管挿管後に気管切開へ移行した症例について年齢を含めたリスクの検討を行う。なお、症例については平成21年4月1日～平成31年3月31日の症例について、電子カルテを用いた後方視的研究とする。	2019/11/5 ~ 2023/3/31	

承認番号	診療科・研究責任者	研究課題名	研究内容	研究期間	備考
191060	医療技術局 中山 靖規	反回神経麻痺に伴う食道癌術後の 経口摂取開始の検討	食道癌術後に発生する嚥下障害は一過性であるとの報告があるが、経口摂取開始の時期は一定でなく遅延する例がある。これまで、食道癌術後患者の改善の過程や評価法を検討した報告は少なく経口摂取開始が遅延する要因は不明であった。そこで我々は患者背景・合併症・術後経過・手術因子・病理組織学的所見から経口摂取開始を遅延させる要因を調査した。また術後に実施した嚥下機能評価法のうちで有用な評価法を検討した。	2019/11/8 ~ 2020/6/30	
191061	看護局 山崎 愛子	外来化学療法室の待ち時間改善に向けた取り組み	外来化学療法室の待ち時間に関する患者の思いを明らかにする	2019/11/11 ~ 2020/3/15	
191062	乳腺甲状腺外科 高島 大典	HER2陽性ホルモン受容体陰性乳癌における遺伝子HSD17B4高メチル化の有用性評価試験	HER2陽性ホルモン受容体陰性乳癌における術前化学療法＋放射線療法の有効性を病理学的に評価しHSD17B4高メチル化が病理学的完全奏効(pCR)の予測因子となっていることを検証する。対象患者に対し術前化学放射線療法を施行後、根治的な手術を行いHSD17B4のメチル化の有無と病理学的効果との相関を検討する。	2019/11/12 ~ 2022/4/30	
191063	脳神経外科 福田 真紀	破裂脳動脈瘤塞栓術におけるHydrogel coilとbare coilの違い	第35回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会の一般演題として発表	2019/11/20 ~ 2019/11/23	
191064	集中治療科 濱田 暁	胸腔鏡手術の術後鎮痛法の比較	前鋸筋膜面ブロックが、胸腔鏡手術の術後鎮痛法として、従来の鎮痛法(硬膜外麻酔や麻薬静注等)と比べて鎮痛効果が優れているか、合併症の頻度が少ないかどうかを、後方視的に検討する。	2019/11/22 ~ 2020/5/31	
191065	呼吸器外科 徳永 義昌	当院での術後気管支断端瘻の発症リスクに関する検討	【背景】近年早期非小細胞肺癌の発見により縮小手術が選択されることが多くなってきたが、非小細胞肺癌に対する標準術式は肺葉切除術であり、進行肺癌においては全摘除術が選択されることもある。ただし切除には気管支処理が必須であり、非常に重篤な合併症である気管支断端瘻が術後起こりうる。【目的】肺葉切除以上の術式を施行し、術後気管支断端瘻を来した症例から、気管支断端瘻の発症リスクを評価すること。	2019/11/29 ~ 2019/12/31	
191066	脳神経外科 政平 訓貴	Japan Trevo Registry	研究機器であるトレボ プロ クロットリトリーパー(Trevoリトリーパー)は、2019年3月20日、米国で実施されたDAWN試験の成績を基に、本邦でも最終健常確認時刻から24時間以内の脳梗塞患者に対する使用が承認され、最終健常確認時刻から6~24時間以内の脳主幹動脈閉塞(ICA又はMCA-M1閉塞)による急性虚血性脳梗塞患者で、Clinical Imaging Mismatch(CIM)を有する患者が対象となっている。これにより、治療可能な脳梗塞患者が増え、より多くの脳梗塞患者の救済が可能となった。このような現状を踏まえ、本邦においてトレボ プロ クロットリトリーパー(以下、Trevoリトリーパー)を使用した患者に関する情報を収集し、通常診療下における有効性・安全性に関する調査を行う。	2019/12/4 ~ 2021/8/31	
191067	腫瘍内科 根来 裕二	切除不能進行・再発胃癌患者の二次化学療法中における末梢神経障害を中心とした副作用と薬剤効果を検討する多施設共同観察研究	実地臨床における切除不能進行・再発胃癌患者に対する二次化学療法を施行された症例を対象にNCI-CTCAE及びアンケート(PNQ、FACT/GOG-Ntx)調査を用い、末梢神経障害を中心とした副作用と治療効果の関連性を調査する	2019/12/17 ~ 2023/10/31	
191068	血液内科・輸血科 藤澤 佑香	HBV既往感染歴を有する同種造血細胞移植レシピエントに対する、HBワクチンによるHBV再活性化予防法のランダム化検証的試験	HBV既往感染歴を有する同種造血細胞移植レシピエントに対する、HBワクチンによるHBV再活性化予防効果を前向きに研究をする	2019/12/17 ~ 2023/3/31	
191069	放射線診断部 中田 暢将	深層学習を用いた胸部X線CTにおける肺野病変の検出	正常な胸部X線CT検査画像を深層学習で学習させることにより、様々な肺病変を自動的に検出するCADeシステムを開発することを目的とする。	2019/12/17 ~ 2022/3/31	

承認番号	診療科・研究責任者	研究課題名	研究内容	研究期間	備考
191070	整形外科 小田 孔明	日本整形外科学会症例データベース(JOANR)構築に関する研究	運動器疾患の手術に関する大規模データベースの構築に協力を行う。年齢、性別、診断名、手術術式などの手術に関連する情報をインターネットを利用して登録を行う。	2019/12/19 ~ 2029/3/31	
191071	看護局 本山 舞	A病院における持ち込み褥瘡の現状から分析したケア介入のあり方	当院における持ち込み褥瘡について、2018年4月1日～2019年3月31日の期間中に持ち込み褥瘡を保有していた患者155名を対象に、後ろ向き調査を実施。その結果から、現状を分析し、ケア介入のあり方について検討した	2019/12/23 ~ 2020/3/31	
191072	消化器外科 木村 次郎	膵頭十二指腸切除術後の膵液瘻重症化予防	過去の当院での膵頭十二指腸切除術を受けた患者の合併症等を検討する。2020年の日本消化器外科学会で発表。また論文作成予定。	2019/12/23 ~ 2020/7/31	
191074	消化器外科 戸嶋 俊明	cT4b結腸癌に対して安全かつ根治的に腹腔鏡下手術を行うための工夫～全例RMO切除を目指して～	第75回消化器外科学会総会で発表予定	2019/12/26 ~ 2020/7/4	
191075	救命救急センター 齋坂 雄一	日本航空医療学会ドクターヘリインシデント・アクシデント登録と要因分析に関する研究	ドクターヘリの活動に関するインシデント・アクシデントを収集し分析することで安全な活動を行い、ドクターヘリのさらなる質の向上に寄与するため	2020/1/9 ~ 2025/3/31	
191076	救命救急センター 齋坂 雄一	日本航空医療学会ドクターヘリ全国症例登録システム(JSAS-R)への登録・調査・分析に関する研究	ドクターヘリが要請された全症例を把握し、詳細を把握し検討・フィードバックすることでドクターヘリの品質管理を行い、国民に成果を還元できる	2020/1/9 ~ 2025/3/31	
191077	呼吸器内科 浦田 知之	成人市中発症肺炎(COP)における肺炎球菌性肺炎の疫学研究	成人COPにおける肺炎球菌血清型分布の変化を観察することにより成人肺炎球菌ワクチン戦略を評価する 成人における2つのワクチン摂取の肺炎球菌性肺炎の予防効果についてデータを求める	2020/1/10 ~ 2023/1/31	
191079	乳腺・甲状腺外科 高畠 大典	化学療法既治療の転移乳がんに対するアベマシクリブ療法の観察研究	化学療法既治療の転移乳がんに対する内分泌療法とアベマシクリブの併用療法の患者群の観察研究を行い、無増悪生存期間、全生存期間、奏効期間、奏効率、臨床的有用性、有害事象を評価し、有効性と安全性を検討する。	2020/1/15 ~ 2022/11/30	
191080	消化器外科・一般外科 稲田 涼	高齢者Stage III大腸癌に対する術後補助化学療法の現状調査(多施設共同観察研究)(MOEST study)	本邦における、高齢者(75歳以上と定義)のStage III大腸癌に対する術後補助化学療法の実施状況を把握するとともに、その有効性と安全性を探索的に評価する。	2020/1/17 ~ 2024/12/31	
191081	消化器外科・一般外科 稲田 涼	腹腔鏡下直腸癌術後性機能障害に関する多施設前向き観察研究(the LANDMARC Study)	腹腔鏡下直腸癌術後性機能障害発生割合に関する指標データ(ランドマークデータ)を形成することを主な目的とする。また、本研究では、現時点で存在する3つの腹腔鏡下直腸癌手術(Lap-TME、Ro-TME、taTME)において、性機能障害発生割合に差があるかを同時に検討する。	2020/1/17 ~ 2026/1/31	
191082	消化器外科・一般外科 稲田 涼	肥満大腸癌患者に対する腹腔鏡下手術の腫瘍学的安全性を評価する後ろ向き試験(LOVERY Study)	肥満患者に対する腹腔鏡下手術の短期、及び長期成績について後ろ向きにデータ解析を行い、肥満患者に対する腹腔鏡下手術の腫瘍学的安全性について検討する。本研究の登録施設において対象症例の臨床データをEDCシステムにてデータ登録を行う。収集したデータに関して、研究事務局等と討議し、固定されたデータを統計解析責任者に送付する。解析結果は、統計解析責任者から研究代表等へ送付される。	2020/1/17 ~ 2020/3/30	
191083	心臓血管外科 田中 哲文	Aortic valve perforation during endovascular repair of an abdominal aortic aneurysm	腹部大動脈ステントグラフト内挿術における珍しい合併症(大動脈弁穿孔)の症例報告	2020/2/18 ~ 2020/12/31	
191084	脳神経外科 福田 真紀	日本国内の脳神経血管内治療に関する登録研究4(JR-NET4)	日本における血管内治療の実施状況の把握、治療成績の評価、治療成績に影響を与える因子を探索すること。2015年から2019年のデータと2005年から2014年までのデータと比較すること。	2020/1/24 ~ 2020/12/31	
191085	消化器内科 根来 裕二	潰瘍性大腸炎における発症年齢とステロイド大量静注療法の効果との関連	ステロイド大量静注療法の効果が潰瘍性大腸炎(UC)発症年齢と関連しているかを明らかにする	2020/2/27 ~ 2025/3/31	

承認番号	診療科・研究責任者	研究課題名	研究内容	研究期間	備考
191086	脳神経外科 政平 訓貴	レセプト等情報を用いた脳卒中、脳神経外科医療疫学調査	脳卒中の医療体制設備のための研究で、J-ASPECT studyとして2010年度より開始している。厚生労働省科学研究費補助金を受け、全国の参加施設のDPCデータから、脳卒中に関連する様々なデータを集積している。当院でも毎年参加している。	2020/1/29 ~ 2021/3/31	
191087	産科 永井 立平	妊娠高血圧症候群の母体より出生した児の3歳までの身体発育の調査—SGA児の発育への影響因子の検討—	本研究の目的は、妊娠高血圧症候群を発症し、分娩に至った妊婦より出生した児の新生児期、乳児期の身体発育を調査することにより妊娠期間中や出生児の環境が、その後の出生児の身体発育に与える影響を明らかにすることである。また、幼児期や学童期の身体発育の異常や将来的な生活習慣病などを発症するリスク因子となる可能性について検討する。	2020/2/5 ~ 2022/12/31	
191089	救急外来 大麻 康之	救急外来でのフローチャートを活用した帰宅支援の結果報告	救急外来から帰宅する患者の社会的支援の拡充と重症化予防を目的として行う帰宅支援がどういった結果がでたか報告する。	2020/2/6 ~ 2020/3/31	
191090	腫瘍内科 根来 裕二	「治療切除不能進行・再発大腸癌に対する一次治療としてのカペシタビン/LV5FU5+ペバシズマブ療法後のXELOX/FOLFOX+ペバシズマブ併用療法の多施設共同ランダム化第Ⅲ相臨床試験」参加者を対象とした追跡予後調査を目的とした観察研究(C <sup>2</sup> -Study)	RAS/BRAF遺伝子変異と生存期間を考慮した最終的な検討を行うことを目的とした、C <sup>2</sup> -Study参加症例の予後追跡およびRAS/BRAF遺伝子変異スペクトラム情報を収集する。また今後の適切な大腸癌化学療法提供に役立つバイオマーカー探索を目的として、C <sup>2</sup> -Study参加症例の腫瘍組織収集を行う。	2020/2/21 ~ 2022/3/31	
191092	脳神経外科 政平 訓貴	地域悉皆登録に基づいた急性期脳梗塞患者受診遅れの改善を目指す研究	脳梗塞は発症後早期の治療で予後の回復が見込めるため、患者の受診遅れの改善は喫緊の課題となっている。高知県脳卒中悉皆調査は高知県内29の急性期病院を受診した脳卒中患者が登録されているが、これを用いて患者発症地(居住地で代替)とその治療施設との関係が患者の受診遅れにどのような影響を及ぼすかを調査する。高知市以外に居住する患者についてはすでに十分か情報があるが、高知市内在住者については居住地を細分化する必要があるため、郵便番号の形で新たに取得する。	2020/2/12 ~ 2021/3/31	
191094	糖尿病・内分泌内科 菅野 尚	当院における非妊娠時35kg/m <sup>2</sup> 以上の高度肥満妊婦の周産期予後の検討	高度肥満妊婦の周産期予後を後方視的に検討	2020/2/12 ~ 2020/8/31	
191097	耳鼻咽喉科 小桜 謙一	咽喉頭がんに対する経口的切除の有効性・安全性に関する研究	頭頸部癌領域における唯一の全国規模のデータベースである頭頸部癌全国登録をもとに、①咽喉頭がんに対する経口的切除症例登録システム構築、②そのデータベースを基に全国規模の後方視の多施設共同コホート研究、③咽喉頭がんに対する経口的切除のガイドライン作成を行うことを目的とする。	2020/3/9 ~ 2022/3/31	
191098	脳神経外科 太田 剛史	急性期血行再建術の体制と技術	急性期血行再建術の診療体制について当院の現状を報告する、Stroke 2020でのランチョンセミナーでの発表	2020/3/17 ~ 2020/8/25	
191099	脳神経外科 太田 剛史	Distal Protectionの有効性	頸動脈ステント留置術における遠位塞栓防止のための機器としてdistal protectionの有効性を検討する、Stroke 2020でのアフタヌーンセミナーでの発表	2020/3/9 ~ 2020/8/25	
191101	代謝・内分泌内科 菅野 尚	2型糖尿病におけるサルコペニアとその関連因子の検討	2型糖尿病におけるサルコペニアの実態およびそれに関する栄養、ホルモンの影響を検討	2020/3/17 ~ 2022/3/31	